

## コロナ禍に考える健康と絵本

竹田 徳則（医療科学部長）

本学では令和4年度より、医療科学部が開設されました。医療科学部では、障害の改善にとどまらず、健康寿命延伸の一端を担う理学療法士と作業療法士の養成を目的としています。今回は高齢者健康支援の立場から健康と絵本について考えます。

皆さんは「絵本」の思い出を問われるとどのようなことを思い起こすでしょうか。絵本の題名かもしれませんし、家族の膝の上や寝る前に読んでもらっていた情景かもしれません。私自身は1ページあたりが厚い「金太郎」や「桃太郎」「一寸法師」と子供に読み聞かせた立場では、「おぼけのバーバーパパ」や「どろんこハリー」「おふろだいすき」などの内容を懐かしく思い起こします。ところで、本学図書館の蔵書数約23万冊のうち絵本の冊数をご存じでしょうか。その数は5,691冊、そして関連する児童書は3,511冊、紙芝居が552冊で子供向けは合計が何と1万冊近くに及ぶそうです。また、絵本関連では図書館主催の地域貢献活動「絵本おはなし会」があります。これは学生の有志が主体的に運営し地域の子供たちに読み聞かせを行う交流の場です。また、同学生らは瑞穂図書館・名女大図書館コラボ企画「名女大生のおはなし会」のボランティアとしても活躍中です。

さて、私が専門とする高齢者健康支援学の立場から読書や絵本の効用に触れます。まず、読み聞かせにも通ずる読書と認知症発症では、趣味の中でも読書を含む文化活動を趣味に持つ人に対してそうでない人は、男性では1.8倍発症リスクが高く、読書は認知症予防策の一つである可能性を報告してきました。次に、高齢者の社会参加と健康の関

連では、東京都健康長寿医療センター研究所による絵本の読み聞かせボランティア養成プログラムは、週1回3か月間の受講後に1グループ6名ほどで地域の保育園や小学校などで定期的な訪問交流活動を行います。その効果として、高齢者では健康感の良好な改善や長期的には記憶に関わる脳の海馬領域の萎縮が有意に抑制され、読み聞かせに参加した児童では、参加していない児童に比べて「話の聞き方」と「話し方」が改善することが報告されています。そして、私はこれまでに高齢者入所施設において高齢者が子供に絵本を読み聞かせる交流を企画し、実践してきた経験があります。その場面では、高齢者が緊張しながらも絵本を読み進めるといった普段の生活では見ることのない意外の取組みを目にした施設職員には、能力を発揮できる場や活用する場を設定することの大切さを認識する機会になりました。

図書館は学生と教職員や地域の方が教養を高める資源の宝庫であり、必要な資料を収集できる場であるに違いありません。それに加えて多くの方が時には絵本を手に取り過去を懐かしんだり、学生同士でエピソードを語り合ったりする場であって欲しいと思います。その結果として、ほっこりと和むそんな気持ちを実感できれば、コロナ禍における図書館の利用を違う側面から啓発できるのではないのでしょうか。そして「絵本おはなし会」の場に地域の高齢者も加わることによって、世代間の交流の輪がさらに広がる図書館になれば、とも期待しております。

## ◎ 目次 ◎

巻頭言	p. 1
令和3年度 学術情報センター利用者アンケート報告	p. 2
令和4年度 新入生オリエンテーションについて	p. 4
印刷ポイントの節約方法について	p. 4
おしらせ	p. 5

# 令和3年度 学術情報センター利用者アンケート報告

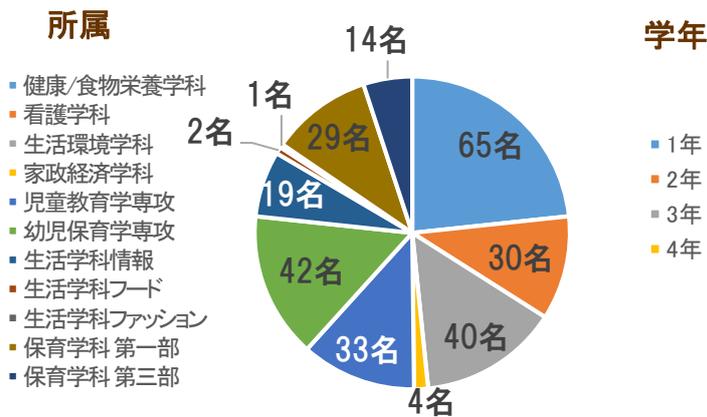
学生の皆さんの利用状況を把握することで必要な学習支援を提供できるよう、利用者アンケートを毎年実施しています。令和3年度は、2年目となったコロナ禍において引き続き一部サービスが制限される中、学生の皆さんが情報資源や施設を十分に利活用できているか確認することを目的として実施しました。また、学生の皆さんがより回答しやすいよう、令和3年度より学生ポータル Campusmateで実施しました。

**実施要綱**

- ・実施期間：令和3年12月13日(月)～24日(金)
- ・実施方法：学生ポータルCampusmate
- ・回答数：279名

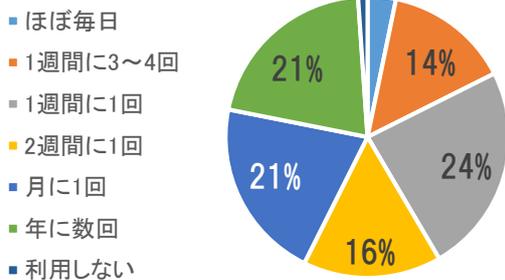
## アンケート回答

### 回答者内訳

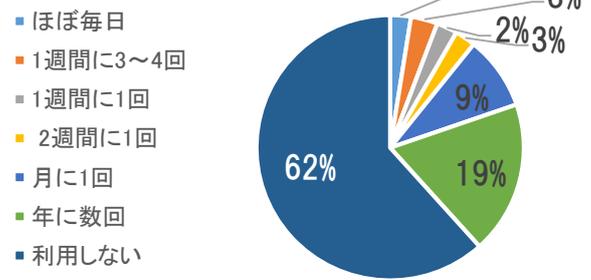


### 利用頻度と目的

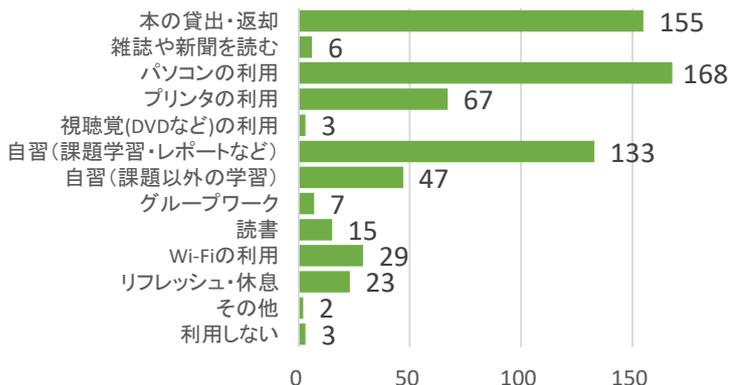
#### 図書館の利用頻度



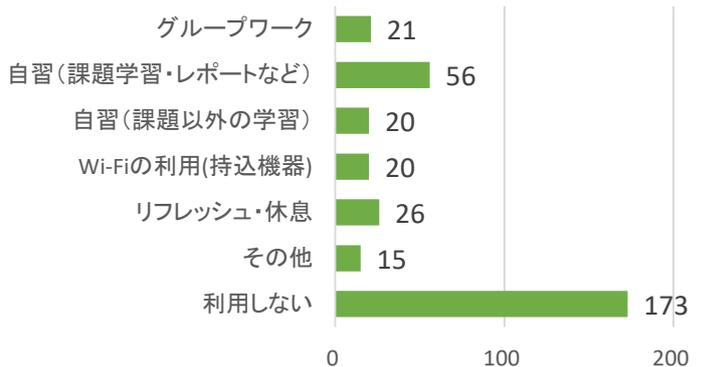
#### 西館ラーニング・commonsの利用頻度



#### 図書館の利用目的で多いもの(複数選択可)

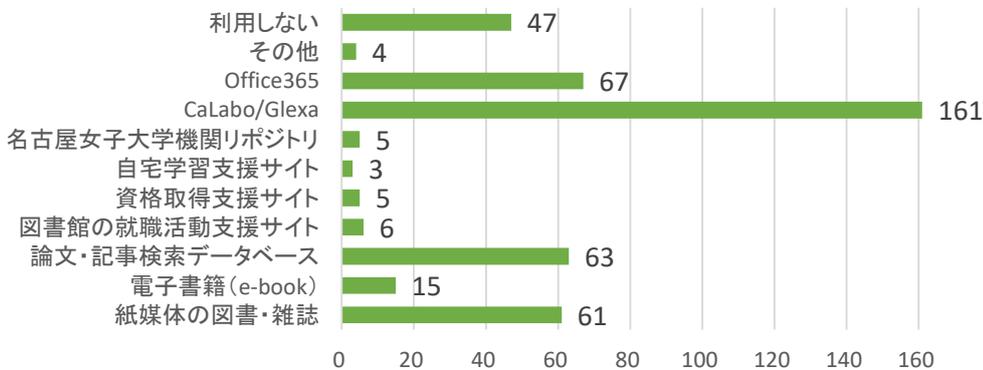


#### 西館ラーニング・commonsの利用目的(複数選択可)

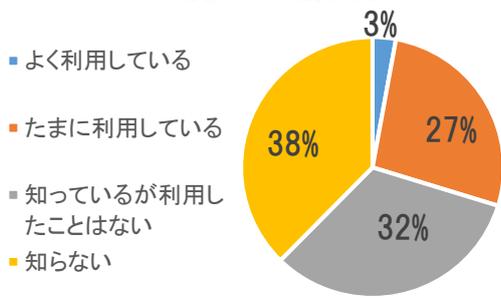


# 令和3年度 学術情報センター利用者アンケート報告

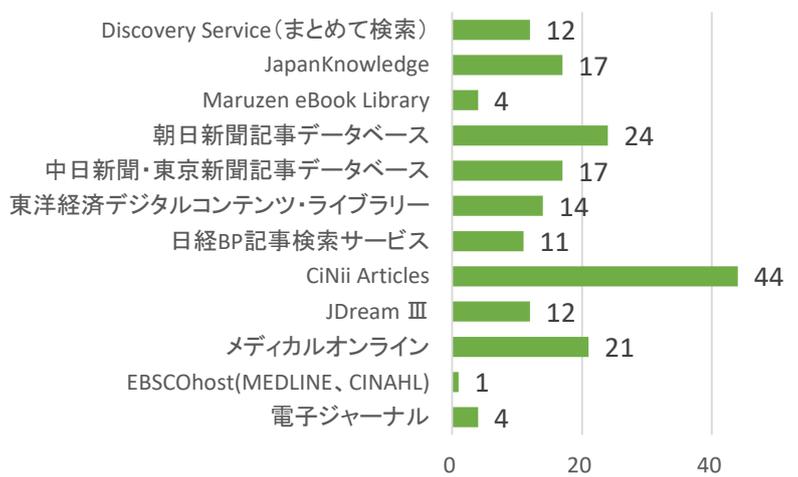
## 学術情報センターの資料・コンテンツで学習・研究のためによく使用するもの(複数選択可)



## 図書館の「学外からのデータベース利用」の利用頻度



## 「よく/たまに利用している」と答えた場合、何を利用しているか(複数選択可)

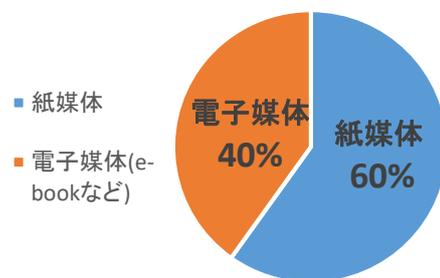


## その他

### 自宅でインターネットに接続できる環境はありますか？



### 同じ本があった場合、紙媒体と電子媒体のどちらを利用したいですか？



## まとめ

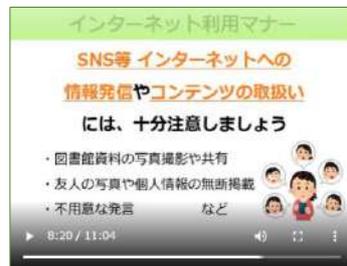
図書館を月に2回以上利用する方が57%とあり、定期的に利用されていることがわかります。また、授業計画の変更を受け、課題学習の増加や自習時間の増加など、従来とは異なる学習形態の変容が一部見られました。CaLabo/Glexaの利用率が高まっている点もその一つであり、遠隔授業推進の影響によるものと考えられます。学術情報へのアクセスの面では、自宅でのインターネット環境について、スマートフォンがパソコンをわずかに上回り、レスポンス環境の提供が必要との認識が深まりました。一方で紙媒体資料の需要も根強くあり、利用方法を考慮したうえでの蔵書構築が必要となっています。

# 令和4年度 新入生オリエンテーションについて

学術情報センターでは、以下のメニューで新入生の情報サポートを行いました。

## 学術情報センター説明動画

学術情報センターのサービスを“10分で学べる”動画を提供しました。図書館の紹介から学内でのパソコンの使い方、インターネットの利用マナーまで、学生の皆さんが情報を使いこなすためのナビゲーション動画を視聴してもらいました。視聴した新入生からは、「朝から夜遅くまで開いていることや、印刷の方法などサービスの内容がよくわかった」という声などが寄せられています。



★動画は学修e-ポートフォリオ「Glexa」に教材として公開しました。(4/5～4/15)

## 新入生ウェルカムツアー by 図書館・学生インターンシップ

図書館を実際に見学する「新入生ウェルカムツアー」を開催しました。ツアーの企画とガイド役を務めたのは、**図書館・学生インターンシップ**参加者の4名。

「自分が入学した時に困ったことを案内したい」、「楽しいツアーにしたい」という思いを胸に、事前のリハーサルを重ね、新入生を迎えました。先輩からの温かいエールにふれて、新入生の皆さんからも笑顔がこぼれました！

**困ったときは…** 図書館カウンターまたは学術情報センター2F事務室に来てくださいね。



## 印刷ポイントの節約方法について

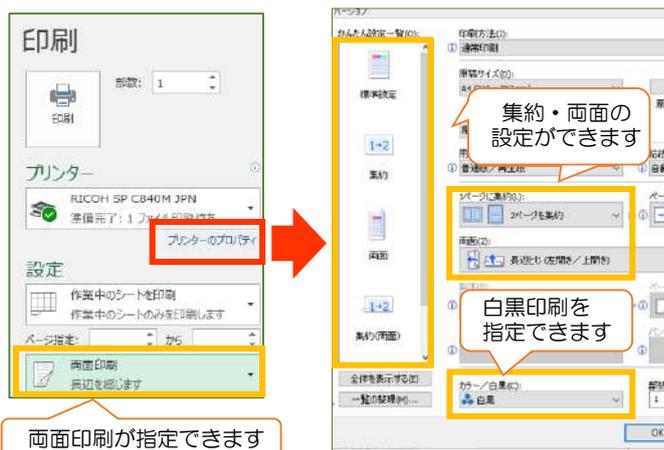
コンピューター自習室・演習室のプリンターの印刷管理システムは、ポイント制（授業時間外）になっています。必要なポイントは、用紙サイズ、白黒・カラーにより異なります。印刷ポイントの上限は年間500ポイントです。500ポイント以内に収まるよう、印刷方法を工夫しましょう。白黒印刷（カラーは控える）・両面印刷・2枚を1枚に印刷する集約印刷などは、ポイントの節約になります。

	A4	A3(※)
白黒	1ポイント	2ポイント
カラー	5ポイント	10ポイント

※教室によってはA3サイズは印刷できません

### 印刷ポイント節約の設定方法

パソコンから印刷時に各ソフトの印刷画面「プリンターのプロパティ」で設定します。



### 実習や卒論で大量印刷が必要な時

#### 健康科学部 健康栄養学科

- 給食実習（パンフレット・食券など）  
⇒ 東館201のプリンターで印刷
- 卒業論文 ⇒ 担当の先生へ

#### 家政学部

- 教職関連 ⇒ 教職担当の先生へ
- 卒業論文 ⇒ 担当の先生へ

#### 文学部

- 卒業論文・教育実習（大量印刷）  
⇒ 南8号館 共同研究室横のプリンターで印刷

# お知らせ

## 朝日新聞データベースがリニューアルしました

リニューアル後のトップ画面

令和4年4月1日より朝日新聞記事検索データベースが全面リニューアルされ『朝日新聞クロスサーチ』になりました。

本学契約データベースは、コンピュータ演習室・自習室の他、学内Wi-Fiに接続した端末からも利用できます。図書館マイライブラリにログインすることで、自宅からも利用可能です（参照：[学外からの利用手順](#)）。課題学習や就活に向けた時事問題・一般常識の学習などに活用ください。



### リニューアルポイント！

- レスポンシブデザインが採用され、スマートフォンやタブレットでも利用しやすくなりました。
- トップ画面に記事、紙面のジャンル検索が設置されました。
- 横断検索機能が追加され、記事・縮刷版・現代用語（知恵蔵）のコンテンツが横断検索できるようになりました。
- 検索結果の並べ替えに「キーワードの多い順」が追加されました。
- 検索結果の本文で再検索したい文字をドラッグすると「選択文字列検索」が現れ、スムーズに横断検索ができます。
- 授業目的公衆送信補償金制度に基づいた授業での記事公衆送信に対応されたことで、切り抜きPDFのダウンロードができるようになりました。

## 学内Wi-Fi接続エリア拡大

2021年秋に整備を実施し、学内のWi-Fi接続エリアを拡大しました。Wi-Fiエリアの拡大は公共スペースや大教室など、公共性の高い場所を中心に順次実施しています。Wi-Fi接続には学内アカウント情報（ユーザー名・パスワード）が必要です。また、初回接続時には初期設定が必要です。設定方法は[マニュアル](#)を確認ください。

### Wi-Fi接続エリア一覧

(2022年5月10日現在)

- 図書館1階2階
- 西館1階 ラーニング・commons
- 東館1階 食堂
- 東館3階 301講義室
- 南4号館1階 105講義室
- 南7号館1階 エントランスホール
- 南7号館1階 109講義室
- 南8号館1階 食堂
- 南8号館4階 401講義室

## 読書感想文コンクール

学生の皆さんの読書意欲向上と文章力醸成を目的として毎年実施しており、今回で11回目となります。本学の読書感想文コンクールは課題図書制です。1年次に全学生に配布される“読書ノート”に掲載されている先生からのおすすめ図書や、大学生におすすめしたい近現代文学作品から12冊を選出しています。

最優秀賞と優秀賞には図書カードを進呈します。応募作品は作品集に掲載の上、参加賞と併せて応募者全員に進呈します。たくさんの皆さんの参加をお待ちしています。

- 応募要項
- [課題図書](#)から1冊選び、手書きで感想文を書く。
- 読書感想文は400字詰め原稿用紙2～3枚程度で専用の[応募用紙](#)を使用する。
- 未発表作品で1名につき1作品とする。
- 応募作品の著作権は名古屋女子大学に帰属する。
- 応募作品による作品集を作成する。作品集は学術情報センターWebサイトへ掲載する。
- 提出期限  
令和4年10月31日(月)
- 提出先  
図書館カウンター



詳細は  
[こちら](#)から確認！

名古屋女子大学 学術情報センターだより 78号

発行日：令和4年6月1日 発行：名古屋女子大学学術情報センター  
学術情報センターWebサイト <https://lsic.nagoya-wu.ac.jp>

〒467-8610 名古屋市瑞穂区汐路町3-40  
TEL：図書館(052)852-9768 システムサービス(052)852-1120